



教育実践開発コース

谷垣 花

私は養護教諭を目指し弘前大学教育学部で学び、教職大学院に進学しました。学部の専門科目は、養護教諭を目指す仲間との学びが多かったと思います。教職大学院では、教諭と養護教諭の現職の先生方、そして私のように学部卒で教諭や養護教諭を目指す院生が共に学び合える環境が整っています。この学びはとても新鮮です。共に学ぶことで、子どもを捉える視点の違いについて理解を深められ、チームとして子どもを支える上で不可欠な、専門性を生かした関わり方を多面的に学ぶことができます。

授業では、実際の事例をもとに学ぶ機会が多く、現職の先生方の意見も取り入れながら考察を深めるため、実践的な学びができます。私自身、学部生の頃は触れることが無かった学級担任の視点に触れ、現場でどのように協働すればよいか、より具体的なイメージをもつことができました。また、連携協力校における実習では、保健室での活動を中心としながら学級での活動にも参加しています。それにより、子どもの多様な場面での理解や学級経営への理解が深まりました。もちろん、養護教諭としての専門的で実践的な学びが高まっていることもひしひしと感じる日々です。

教職大学院での日々は、大変な面がある一方で、得るものも多く充実しています。今後もこれまでの気付きや経験を生かし、仲間と共に学び続けたいと思っています。